

「学校から見える山」プレゼント について

子供の頃、学校から見える山々で山名の解る山が意外と少なかったことを思い出します。2016年度から始まる8月11日の「山の日」にちなんで、日本山岳会山形支部の記念事業並びに公益事業の一つとして、子どもたちへ「学校から見える山」プレゼントを企画しました。

選定した小学校、あるいは少年自然の家から見える山々のパノラマ図と鳥瞰図を酒田市在住のイラストレーターに作成してもらい、これに山名の由来、植生や地形などの特徴、民俗、登山道などの解説を加えて、当該小学校の1つの学年、あるいは少年の家利用の児童たちに利用してもらおうものです。学校を取り巻く山々の山名、あるいは登山する山を知ることで、より自然景観への関心が高まり、感性を磨く一助となり、ゆくゆくは山への興味関心へと繋がっていくことを願っています。

学校、学年あるいは地域で登山を実施している小学校及び少年自然の家においては、事前学習の資料として活用されることを期待しています。そして、要請があれば、支部会員が外向き資料の説明、解説、さらには登山の手伝いをさせてもらえればこの上ないことです。最後に、児童、職員、保護者の方々に感想をお願いし、今後の活動に役立てていきたいと思っています。

今年度から始まる「山の日」に関する支部記念事業として開始し、ゆくゆくは県内の山形(村山)、米沢(置賜)、新庄(最上)、鶴岡・酒田(庄内)の4つの地域で実施できればと思っています。

小学校で実施するにあたり、鶴岡市教育委員会と金峰少年自然の家に伺い、ご指導、ご助言をいただきました。そして、月山登山を実施している学校、金峰少年自然の家において人気のある行事として四季を通して実施している金峰(峯)山登山であることを紹介してもらいました。

初年度は金峰少年自然の家の行事に合わせ、加茂坂から見た金峯山、母狩山、湯ノ沢岳のパノラマ図と、金峰少年自然の家上空から母狩山辺りまでの鳥瞰図を作成してもらい、登山の事前学習として役立ててもらうことから始めたいと思っています。

この企画に即効的な効果を期待することは難しいと思いますが、児童たちが日常的に見ている山々を、日頃あまり馴染みのない立体的にとらえることで、山々への興味関心が湧いてくることを期待しています。さらに、子供たちの自然を対象とした学習を通して、保護者や家族にとっても身近な山への興味や理解が広がっていくことも期待しています。

2016年5月

公益社団法人 日本山岳会
山形支部長 木村 喜代志